



こんな症状の時はためらわずに119番

みなさんは救急車を呼ぶ際に、判断に困ったことはありませんか。以下のような症状がみられる場合や様子がおかしい場合には、ためらわずに119番に通報してください。

救命の連鎖 Chain of Survival



救命の連鎖とは、急変した傷病者を救命し、社会復帰させるために必要となる一連の行為のことです。

①心停止の予防
事故にあわなからむこと、突然死を未然に防ぐ。

②心停止の早期認識と通報
突然倒れたり反応がない人を見つけたら、すぐに119番通報とAEDを頼む。

③1次救命処置
素早い心肺蘇生法とAED。

④2次救命処置
社会復帰を目指すための救急隊や病院での専門的な処置。

上の図の4つの輪のうち、どれか一つでも途切れてしまえば、救命効果、社会復帰率は低下します。救命の連鎖の最初の3つの輪は、みなさんが担うこととなります。いざというときのために救命処置についての知識を身につけておきましょう。

※心肺蘇生法やAEDの使い方については、詳しくは、町ホームページに掲載しています。

救急車を呼ぶ際に伝えること

119番通報した際には、通信指令員が救急車の出動に必要なことを順番にお伺いします。落ち着いて、慌てず、ゆっくりと答えるようにしましょう。

1 救急であることを伝える

- 119番通報したら、まず「救急です」と伝えてください。

2 救急車に来てほしい場所を伝える

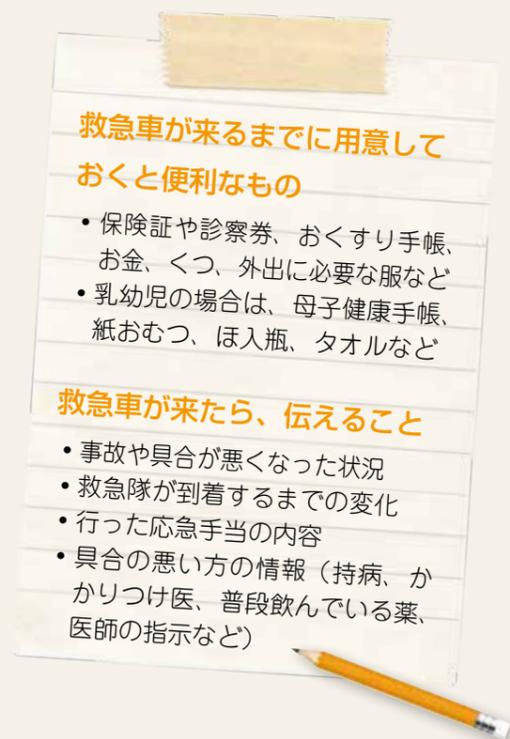
- 住所を伝えてください。住所がわからないときは、近くの大きな建物、交差点など目印になるものを伝えてください。

3 具合の悪い方の症状などを伝える

- だれが、どのようにして、どうなったのが簡潔に伝えてください。併せて意識、呼吸の有無などを伝えてください。

4 通報した方の名前と連絡先を伝える

- 通報した方の名前と連絡可能な電話番号を伝えてください。場所が不明な場合に問い合わせることがあります。



参考資料：総務省消防庁「救急車利用リーフレット」

大人

顔

- 顔半分が動きにくく、笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつが回りにくく、うまく話せない
- 見える範囲が狭くなり、周りが二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

頭

- 突然の激しい頭痛、突然の高熱
- 支えなしで立てないくらい急にふらつく

胸背中

- 突然の激痛、急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2〜3分続く
- 痛む場所が移動する

お腹

- 突然の激しい腹痛、持続する激しい腹痛
- 血を吐く、便に血が混ざるまたは真っ黒い便が出る

手足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

子ども(15歳以下)

顔

- くちびるの色が紫色
- 顔色が明らかに悪い

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

胸

- 激しいせきやゼーゼーして呼吸が苦しそう
- 呼吸が弱い

お腹

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがる
- 嘔吐が止まらない
- 便に血が混じった

手足

- 手足が硬直している

次のような症状の場合もすぐに119番に通報を

意識の障害

- 意識がない(返事がない)またはおかしい
- ぐったりしている

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識が戻らない

飲み込み

- ものをのどに詰まらせて、呼吸が苦しい、意識がない

じんましん

- 全身にじんましんが出て、呼吸が苦しい

けが・やけど

- 痛みのひどいやけど
- 広範囲のやけど
- 大量の出血を伴うけが

事故

- 交通事故や高いところからの転落

吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

判断に迷った場合は、かかりつけ医に相談するか、3ページで紹介したアプリ(Q助)や救急受診ガイドを119番に頼む。